

行
もいのにぎわい通信

2009年11月28日 定例活動報告

日時：11月28日（土）9：00～17：00 （一般10：00～14：00）

場所：小山町 観音地

天候：晴れ 気温14～17℃ 湿度51% 風向風速 北北東 1～3m

参加者：参加者77名（子供21名、大人56名）（県3名、市3名、県観察指導員8名、地元小山町と土地改良区12名含）

活動記録

- 8：00 焼き芋の準備
- 9：00 地元の皆さん：ビニールハウス、カマド、堆肥場落ち葉入れ
- 9：30 親子参加受付開始
- 10：00 第1グループから順次出発
- 10：30 現地作業班休憩
- 11：30 観察会子供たち帰還 第一グループから順に
落ち葉を入れてプールで遊ぶ
ポット苗を作る
- 12：10 昼食休憩
- 12：35 生物多様性のお話 クイズと紙芝居（県 自然保護課 音谷様）子供たち自由に遊ぶ
- 13：15 来賓を迎えての懇談会
- 13：45 記念撮影
- 13：50 ビニーハウス作業再開 一般解散 自由活動 暫時解散
- 17：00 ビニールハウス完成 片付け解散

活動報告

今日は快晴で気温も低くなく暖かな日になりそうです。地元の皆さんは、9時前より観音地に集合し、東急ゴルフ場正門近くの入り口案内看板を設置。焼き芋用の焚き火、給水タンクの給水導水蛇口の取り付けなどを準備。

09:00 地元の方はビニールハウス建て方の続きを開始。先月雨のため途中で中断した骨組みの残りから再開。

来賓の方、順次参集。観察指導員の方々集合打ち合わせ

09：30 親子参加者の受付開始。

10:00 もりもり遊び隊の子供たち、親子参加者が3班にわかれ指導員の方と第1班から昭和の森疎林広場に向かって出発。焼き芋の仕込み、カマドの火入れ、トン汁班準備開始。

10:30 ビニールハウス作業班休憩 次の植樹祭に移植するイヌマキの処理を相談。

10:45 建て方作業再開。ポット苗準備班、ポットに堆肥を入れたり、ドングリの準備。11月はじめから地元のクヌギのドングリを拾い水につけて腐葉土のサンドイッチにして持ってきたもの。意

外にクヌギの木が少ないこと、はじめは集めたドングリがかなり虫に食べられていて使えないため、会員が何度も探してコツコツとコナラ 2000 個、クヌギも 2000 個集めたものです。

11:30 子供たちが帰還した順に落ち葉を堆肥場に入れる。落ち葉がどれくらいふわふわか知ってるか聞いてみると、知らないのは子供たちだけではなさそうでした。子供も大人も感じてもらいました。飛び込んだり寝たり。落ち葉のプールで遊んだ後、スタッフがポットにクヌギのドングリを入れて苗床を作る。用意したドングリは腐葉土の中ですでに根を出しているものもあり、ドングリのどこから根が出るかよくわかりました。

12:10 昼食休憩 スタッフの用意したトン汁が振舞われてお弁当を食べる。暖かい日でトン汁も味がしみ大根がとても美味しく、おかわりがあいつぎ、好評でした。

12:35 昼食の終わりかけから、県自然保護課の音谷様さんが、子供たちにもわかりやすい「生物多様性とは何か」をお話いただきました。まずは、生物多様性という言葉をみんなで言ってみて、スケッチブック 2 冊を使った紙芝居とクイズでいろいろな生き物が繋がって私たちが暮らしていること、生き物が種類ごとなくなってしまうことなど、内容はすごく濃いものですが、バッタや犬など身近な生き物もたくさん出てきたのでわかりやすかったのではないのでしょうか。みんなにシールのプレゼントもありました。ありがとうございます。

13:10 事務局より、千の苗・植林プロジェクト参加証と記念品の手作りの「木の家」、ドングリのお話という手作りの資料を配布しました。来年 5 月 22 日国際生物多様性年の国際生物多様性の日に植樹祭を行うことを紹介。金井さんからグリーンウェイブにすでに登録し、WEB で世界地図に小山町に木が見えることなどをパネルを使って説明。皆さん里親になってくれてありがとうございます。(団体名: morimori-asobitai タイトル: Nursery for young Trees and Kids = 若い木と子供の幼稚園: (<http://greenwave.cbd.int/> > サイドメニュー 「Green Wave Action around the World」 選択 > 2010 年を選択 > 世界地図 > 日本のあたりをクリック)・・・地図には日本で 3 つしか登録がないのですぐ見つかります。

メッセージカードに感想やメッセージを書いてもらい、自由時間には自由に遊んでいいことや育てている木や池の生き物を大切にしてほしいこと、怪我や痛いことに自分で注意して遊ぶこと、ここでの遊びは自己責任となることなどを伝えた。焼き芋を配り熱々の甘い芋を頂きました。

13:15 大人の方中心に懇談開始。小高理事長挨拶の後、来賓の方などからメッセージを頂いた。

・千葉県 伊藤森林課長様

当地の活動は砂利採取跡地を土地改良区の方が土地を買い取って里山の森に復元しようというもので植樹をしてこれだけ育っているのは熱意によるもの。全国的にもあまり例はない。地元農家の方と都市住民の方が共同で森作りを行ない、子供たちも参加して大変すばらしい取組み。このたび教育の森の認定を受けたこともあり、皆さんが協力して楽しみながら利用して長い目で育てて頂きたい。

・農林振興センター 長岡主幹様

教育の森を担当、11月16日付で認定。地域の学校が体験学習の場として、貴重な場として生物多様性の認識も実感できる。森林は CO2 を吸収する機能を持っている。空気中の炭酸ガスを吸収し、不仮を使って光合成を行い木の幹などに炭素を蓄え、木材として家などに使われる。燃やされたときでも空中に再び炭素が戻っていくので、これをカーボンオフセットという。木を植えるということはこのような意味もありこの活動は意義深い。センターとしても今後教

育利用の側面から支援していきたい。

- ・千葉県 環境保全推進課 濱野様

2008年3月の植樹祭にも参加したが、当時は殺伐としてもっと広い土地に見えた。

今日見てみると植えた木も根付き狭く感じる。谷津田保全協定は平成18年にアザミ谷津が指定され、今年度から当地の斜面林の部分も協定が締結された。この大地部分は来年度4月からの締結できるよう10円/平米だが、来年度予算に盛り込み準備を進めている。観察指導員の派遣協力など、今後も森作りを支援していきたい。

- ・千葉県 環境保全推進課 吉野様

長年公園緑地の仕事をしてきたが、ここの取組みはこれまでの経験とは違い、多くの方が一緒に森作りを行っており新鮮。今後できる支援を行いたい。

- ・農政センター森林担当 小倉様

2008年3月の植樹祭にも参加し、皆さんと一緒に植林した。当初は植えても育つかという議論もあったが、今日見せてもらったところ元気に根付いている。森林担当の取組みとして、市も里山作りを支援しているところ。緑区でひらかわの森が指定されているが、区内にもう一箇所作りたいと考えている。ここの取組みは今後の里山作りの参考にしていきたい。

- ・千葉県 自然保護課 生物多様性戦略室 音谷様

生物多様性という言葉は難しく、皆さんに理解して頂き広めるのは大変。1992年のリオサミットで温暖化と生物多様性は両輪として課題が示されたが、温暖化は日本中の人知っているのに対して生物多様性は、その地域で何をどうするか異なるため共通化しにくいなどの難しさがある。しかしここでは、身近な取組みに参加して、楽しく、生物多様性が理解していただける場所。さらに生物多様性の保全が進めば幸い。

- ・東京都葛飾区から一家3世代5人で参加して頂いた方

九州の生まれで故郷はこのような風景が当たり前だったがその後何十年も都会生活を送り自然を守るといふより開発する一方だったように思う。改めて自然に触れ自然の中で考え直すいい機会となった。また参加したい。

- ・緑の環・協議会奥山より

当地の成り立ち、千の苗・植林プロジェクトに至った経緯、来年5月の植樹祭、民間企業の環境活動団体支援への応募、地元農家の方が作る米を参加者が直接購入する仕組み・契約栽培など地産地消、下の水田を利用した稲作りの検討など里山コミュニティを皆さんと一緒に進める模索するなど今後の課題について簡単に紹介。

- ・緑の環・広報担当金井さんより

グリーンウェイブについて、地元の方にも詳細な紹介。ここの取組みがあすみが丘の3小学校の参加・登録もしていただく予定で、ここの取組みが世界に情報発信されることになる。今後写真など、ドングリから苗を育てていることも伝えていきたい。

13:45 参加者全員の集合写真を撮る。

一般参加の方は暫時自由時間・解散

13:50 森もりあそび隊は、南側斜面にみかんの苗木4本と果樹エリアに山本さん寄付のブルーベリー3本を植える。余ったドングリ1,500個をAエリアにばら蒔きした。

地元の方はビニールハウス作業再開。ビニール張り作業は仕上げながらの作業となり、たるまないように、仮止めをしたり、そのための押さえを切断したり手馴れた地元の方を中心に進め

行

られました。しかし、先月雨のために中断していたことが響き、日が傾いても作業は続きました。明日は雨の予報だからと最後まで仕上げてくださいました。屋根の部分はアルミ蒸着フィルムで内側は黒く光を遮断します。両サイドはビニールがロールブラインドのように巻き上げて窓が開きます。立派な入り口ドアもついて皆さんによって丁寧に仕上げられました。これからは途中で雨が降ってきても逃げ込めます。冬の寒いときのお弁当も大丈夫。もちろん種や苗も育てられます。

17:10 片付けて解散。とっぷりと日が暮れました。皆さんお疲れ様でした。

(記録 奥山 淳)

.....

森もりあそび隊

◎昭和の森までの自然観察 (どんぐり・落ち葉ひろい)

最終組 3 班の様子：昭和の森までの途中、二人の男の子が藤つるでターザンに挑戦。うまくつかまれずに身体が回ってる感じ・・・みかねたメンバーの男性が一人豪快にターザン！さぞかし子ども頃は野生児であったのでしょうか。

観察指導員の方からヒノキとサワラの葉の違いや椿とさざんかの花びらの落ち方の違いなどの話を聞きながら暖かい日差しの中、紅葉した木々を見ながらのゆったりした気持ちの良い散策となりました。

昭和の森に入ると・・・椿の蜜をなめたり、椿の落ちた花で花飾りをつくって子どもたちは思い思いのすてきな花飾りを作りました。くぬぎのどんぐりはほとんど落ちていたものではなく、コナラのどんぐりも少なく、葉をかきわけてさがすと根がでているものをたくさん見つけることができました。スダジイのどんぐりは足の踏み場もないぐらいたくさんあり、大人対子どもの雪合戦ならぬどんぐり合戦となりました。たくさん落ち葉をひろって帰ることができました。

◎生物多様性のお話

昼ごはんのあと子ども向けに紙芝居のようにした生物多様性のお話がありました。子どもたちにも生き物のつながりについて感じていることがあり、話をしっかり聞きながらイメージできることを声にだして音谷さんに伝えていました。音谷さんも小さな声も聞き漏らさずに丁寧に答えてくれていました。人間も生き物のつながりの一つであること・・・バランスを大切にしないといけないこと・・・少しでも感じてくれていたらいいなと思います。

◎小山町観音地の森の自由あそび

落ち葉のプールへのダイビング・堆肥の山の穴掘り・焚き火を筒で空気を送って赤くさせる・砂地で旗をたてて団子屋・池のまわりに山を作って海賊ごっこ・池の脇の泥地をあるいたり泥を集めてケーキづくり・砂をひたすら掘る・じゅず集めなどなど

◎苗・どんぐりを植える作業

大人のあそび隊で昨年ひろったどんぐりから育った苗を植えたり、かんきつ3種類の苗を日当たりのよい斜面に堆肥を土にまぜながら植樹しました。

日が暮れるまであそぶ楽しさは大人になっても忘れられない思い出となることでしょう！

最後は寒くなったせいほとんどの子が火の周りにあつまり、必死に燃えるもの集めをしていました。

たくさんあそんでお疲れ様～

(記録 和田みさ子)

.....

★お知らせ ホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

・12月5日(土) 雨天の場合は6日(日)

小山の森にはモミの木がみんなの手で植えられました。11月28日は烏瓜や飾りもつけられ、ちょっとした雰囲気です。今回学校の行事やプラザ祭りなどと重なって参加できなかった方も、今回参加されたかたは連続週末の行事となりますが、今年最後の定例行事となります。ふるってご参加ください。---たき火だ! 焼き芋もあるぞ! 工作してみよう! 木工の先生をお招きしています。ただ木の子供たちを見て歩いてくださっても結構です。リハビリ中の方、ストレスがたまっている方、冬の森でのんびりすごしてみませんか。お昼は焚き火やカマドで何か作りましょう。

・2010年1月23日(土) 雨天の場合は24日(日)

斜面の草刈を行います。雑木の部分でかなりの年月自然のままにおかれたところに何があるのか楽しみです。下刈りをすれば春に必ず花を見つけられるでしょう。



集合写真

行

落葉でお面



落葉と一緒にどうでしょう



落葉運び ヨイショヨイショ!



落葉のプールは深いぞ!



生物多様性と命のつながりについて



グリーンウイブに登録



感想カードになんて書こうかな？



どんぐりの種蒔き



手作りのプレゼント有難う



ビニールハウス完成間近

